

学校教育目標	笑顔いっぱい(E) すこやかいっぱい(S) 大好きはざわの人とまち(D) 持続可能な学校づくりに取り組みます			
	○自分らしさを発揮し、進んで行動する子どもを育てます。(知) ○心と体をすこやかにはぐくみ、生命を大切にする子どもを育てます。(徳・体) ○共に学び合い、地域社会と豊かにかかわりあう子どもを育てます。(公・開)			
学校概要	創立 50 周年	学校長 田屋 多恵子	副校長 岩元 カオリ	2 学期制 一般学級: 16 個別支援学級: 4
児童生徒数: 491 人		主な関係校: 菅田中学校 池上小学校 菅田小学校		

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分で考え、判断し、行動する力	菅田中学校 池上小学校 菅田小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・習得した知識を活用して問題解決できる子 ・互いに表現し合い、自分の考えを深める子 ・自ら行動し、粘り強く取り組む子 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・小中の連携を深め、授業参観を通して互いに授業力の向上を目指す。 ・小中職員が一堂に会する合同研修の設定。 ・「9年間で育てる子ども像」を見据えた教育課程の編成。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが様々な場面で、自分のよさを実感として味わえる学習の場を設定し、人とコミュニケーションをとり、自ら行動できる子を育てていきます。 ○羽沢のまちを「郷土」ととらえ、羽沢のまちや人やもの・ことをよく理解し、羽沢を愛する心を育てます。 ○子どもの「わかる」「できる」を大切に主体的に学べる授業づくりに取り組みます。 ○自他ともに大切にできる子を育てます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	○菅田中ブロックで身に付けさせたい資質・能力を明確にし、各学年での子どもの目指す姿を教職員で共有しながら、研究に取り組みます。
担当 重点研究部	○ユニバーサルデザインを基盤とした誰もが、安心して取り組めるような学習環境を整え誰一人とり残さない教育を目指します。
豊かな心	○道徳の時間や各教科の様々な教育活動全般を通じて、子どもおの体感的な学びを推進し、個々の自尊感情を高められるよう取り組みます。
担当 道徳・人権・特活	○対外的には幼保小中連携や、校内的にはペア学年活動の充実を図り、自己有用感を高め、自他ともに大切にすることを育てます。
健やかな体	○体力テストの分析結果をもとに一年間通じて体力向上を図る取り組みを実施していきます。
担当 体育部・保健	○基本的な生活習慣の定着を図るために、学校保健委員会や他協力機関の協力を得て、休み時間などの過ごし方を工夫できるようにします。
児童指導	○中学校併設小学校として、菅田中学校のスタンダードや羽沢小スタンダードの共通理解のもと、全教職員が羽沢小学校全児童の担任であるという意識をもち指導にあたります。
担当 特別支援・児童指導	○年間2回のYPの実施と検討会から学級集団にあった横浜プログラムを実施し、学級集団の改善を行います。
特別支援	○特別支援コーディネーターと児童支援専任のより深い連携により、特別支援教育の充実を図り、特別支援教室の学習を活用し、だれ一人取り残さない教育を目指します。
担当 特別支援・児童指導	○他機関との連携を図りながら個にあった支援を充実させていきます。
人権	○子どもが自分の人も大事にする感覚を養う授業を日々行うとともに、人権週間の発達段階に応じた取り組みで、さらに人権に関する意識を高められるようにします。
担当 人権	○教職員自身の人権感覚がより高まるよう研修を実施します。
地域連携・学校運営協議会	○子どもたちが、羽沢のまちの「人・もの・こと」に関わりながら、羽沢のまちを「郷土」と捉え、その良さを知り、愛する気持ちをもちながら、羽沢のまちのよりよい発展のために自分ができることを考え実践していけるようにします。
担当 地域プロジェクト	○地域コーディネーターと連携したり、地域の教育力を活かし、学校教育の活性化を目指していきます。
キャリア教育	○地域の素材や人材も含めた地域資源を生かした「横浜の時間」の単元開発を行い、その中で地域の人たちの生き方やキャリアをふれたり、体験しながら自分の将来を思い描ける経験を充実させていきます。
担当 重点・教務部	○外部機関との連携を図り、その方々の職業や活動に対する理解を深めるようにしていきます。
いじめへの対応	○いじめ防止推進委員会を中心にすばやい情報の共有、迅速で正確な初期対応を全教職員でとれるようにしていきます。
担当 特別支援・児童指導	○全教職員が、「いじめに気付く」「いじめを許さない」高い人権感覚をもち、解決に向けて丁寧な児童対応や保護者対応ができるようにしていきます。
人材育成・組織運営(働き方改革)	○チーム学年経営強化推進校2年目として、その強みを最大限生かし、小学校に中学校の組織力を取り入れます。
担当 教務部・働き方改革委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○チーム・マネジャーを核とした人材育成を行います。 ○メンターチームにミドル主幹が講師役を務め、育ちあう組織づくりを実施します。 ○校内組織に「働き方改革委員会」を設置し、教職員自らが自分で考え改革を行える風土を作ります。